

起こりうる特殊災害に備え

合同特殊災害対応訓練

「気分の悪くなった方、災害について情報をお持ちの方は消防隊にお知らせください!」と、緊迫感漂う合同特殊災害対応訓練は、3月18日、白幡の旧都立成東児童保健院で、消防本部、中央消防署東消防署、南消防署、九十九里分署が合同で実施しました。消防本部の警防課長は「訓練は連携を図ることを目的として毎年実施している行事計画の一つですが、合同訓練はなかなか出来ないののでいい経験になります」と話します。訓練は、共同住宅の一室で有害ガスが発生した災害を想定。各隊員は、出動準備位置に待機し、9時55分、居住者から「卵の腐ったような臭いがする」と通報が入り訓練がスタート。現場には、水槽付消防車や救助機材を車積した救助工作車、救急車が次々と集まり、一瞬にして大惨事と化しました。訓練に参加した47人の隊員にはそれぞれの任務があり、その動きに無駄は見られませんでした。訓練の様子は、隊員がカメラであらゆる角度から撮影。「今後の対応に備えるため、訓練の検証をしています」と話していました。



空気ボンベを担ぎ、ガスマスク、陽圧式化学防護服を着装して屋内へ救助に向かう

きれいな花で犯罪を防ごう

JR日向駅前広場に花の植栽



山武市防犯協会山武班の皆さんが、植栽で駅前広場を明るくし少しでも犯罪がなくなることを願い、3月15日、JR日向駅前広場に花の植栽を行いました。

現在、山武市内では、73人(成東18人、山武16人、松尾21人、蓮沼18人)の防犯協会員の皆さんが日ごろから4地区に分かれてパトロールをしています。また、イベントなどがあれば、巡回をして常に市民の皆さんの安全を守っています。

やりがいのある農業に改善

平成20年度家族経営協定締結調印式



農家が生活の中で家族の分担や決まりごとを文書化することで、家族一人ひとりの自覚が高まり、農家女性や若手経営者の農業経営への活力が向上することを目的とした、家族経営協定締結調印式が2月23日、蓮沼出張所会議室で行われました。

山武農林振興センター振興普及部改良普及課長と市農林水産課長の立ち会いのもと行われた調印式では、家族経営協定締結農家5組が出席し、協定書に調印しました。

家族経営協定に関心のある人は、気軽にお問い合わせください。

問 農林水産課農林水産係 ☎0475(80)1211